

2025年
1月11日(土)
- 5月25日(日)

おいし 民窯

食の
うっわ

休館日 月曜日(1月13日、2月24日、5月5日は開館)

開館時間 午前9時30分-午後5時

会場 第1・第2民芸館

観覧料 一般 500円 高大生 300円

中学生以下無料(要証明)*

*その他の減免については豊田市民芸館HPをご覧ください。

主催 豊田市民芸館

共催 中日新聞社

豊田市民芸館

おいしい民窯

-食のうつわ-

「民窯(みんよう)」とは、日々の生活のなかで使う器や道具などを焼く窯、またはそのやきもの自体を指します。日本民藝館の創設者・柳宗悦(1889～1961)は「普段使い」「下手物」といわれるものの美しさを具体的に示すために、皿や碗(椀)などの食の器を取り上げて紹介しました。また、柳家の食卓では、民藝運動を共に牽引した盟友・河井寛次郎や濱田庄司によるうつわが使われていました。

今回の展示では、愛知県の瀬戸焼をはじめとした全国の民窯のやきもの、河井・濱田による食のうつわや日本民藝館展の入選作品を中心とした現代の職人の手仕事によるもので、当館が所蔵する食にまつわるやきものを紹介します。



1



2

関連プログラム

● 特別展示「とよたの旬を、民窯のうつわに盛って」

協力：豊田市農産物ブランド化推進協議会

豊田市内の地産地食応援店にご協力いただき、広報とよた「旬レシピ」コーナーで使用した当館所蔵の民窯のうつわを紹介します。

● 記念講演会「瀬戸本業窯のこれまでとこれから」

日 時：2025年2月22日(土)午後2時～3時半

講 師：水野雄介氏(瀬戸本業窯 八代半次郎後継)

会 場：豊田市民芸館(第3民芸館)

聴 講：無料 *ただし会期中の観覧券の提示必要

*講演会終了後、水野さんを囲んでアフタートークを催します。(参加費100円・コーヒー1杯付)

定 員：先着50名程度(事前申込み不要)

● 民窯のうつわ販売

販売予定：瀬戸本業窯(愛知)、出西窯(島根)、久高民藝店(沖縄)



3



4



5



6

周辺施設のご案内

豊田市本多記念民芸の森

森のアート展vol.22

「揺れ動く輪郭-動的平衡 神尾和直」

2025年1月11日(土)～3月23日(日)



豊田市博物館

「和食～日本の自然、人々の知恵～」展

2025年1月18日(土)～4月6日(日)



豊田市美術館

玉山拓郎: Floor

2025年1月18日(土)～5月18日(日)



交通のご案内

[電車の場合]

名鉄三河線平戸橋駅より徒歩約15分

[お車ご利用の場合]

東海環状自動車道豊田勘八ICより約10分

猿投グリーンロード枝下ICより約10分

東名高速道路豊田ICより約30分

豊田市民芸館

〒470-0331

愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100

TEL 0565-45-4039

<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp>

1.飛龍六寸皿 福岡県小石原(協力:ひょうたん五平餅/立春大吉)、2.染分五寸皿 鳥取県牛ノ戸(協力:日月もなか/日月もなか徳本舗 川村屋)

3.左:とくき文蓋付飯茶碗 右:麦藁手蓋付飯茶碗 愛知県瀬戸、4.エッグペーカー 島根県湯町、5.抱瓶 沖縄県壺屋、6.鯉鉢 福島県会津本郷

[表写真・左上から時計回りに]

八寸皿 沖縄県壺屋/四寸小皿 鳥取県牛ノ戸/染分五寸皿 鳥取県牛ノ戸/スリッパウェア角皿 島根県布志名/エッグペーカー 島根県湯町

飛龍六寸皿 福岡県小石原/角皿 鹿児島県苗代川/平茶家 鹿児島県苗代川/とくき文蓋付飯茶碗 愛知県瀬戸/麦藁手蓋付飯茶碗 愛知県瀬戸

